

佐賀県弓道連盟
たはらのりお
田原 則夫 会長

教士七段。高校時代に競技を始め、以来40年以上上技を鍛え続けている。国スポのリハーサル大会として昨年開催した「第70回全日本勤労者弓道選手権大会」では、矢渡しの射手を務めた。

連の動作を、競技に臨む選手のみなさんが大切にされているのを感じます。
田原 そうですね。いかに平常心で臨めるかが重



佐賀県山岳・
スポーツクライミング連盟
みやはらとしあき
宮原 敏明 会長

幼い頃から山に親しみ、高校進学と同時に登山部へ。その後も競技を続け、これまで県内の高校で数学を教える傍ら数々の登山部を育成。鳥栖高校時代には部を6回にわたって全国大会へと導いた。

運んでいただけるよう情報発信していきます。
宮原 より国スポを楽しんでいただけるように、

**SAGA2024に向けて
今年の抱負**

要になってきます。弓道は自分との戦いの要素が多いものの、やはり相手のいる競技。特に弓を引いて矢が放たれる瞬間に心の迷いが出やすいので、そういうところで心に乱れがないかを試されます。
市長 なるほど。弓道はそうした場面で生まれる雰囲気も魅力ですね。どちらの競技も見どころ満載で、既に国スポが待ち遠しいです。



さまざまな大会や見学会を計画しています。国スポ開催中はたくさん写真を撮って、多くの方が熱気あふれる試合の様子を共有してくださると嬉しいです。大会以外での見学も大歓迎。日本トップクラスの選手が練習に来ることもあると思いますので、ぜひ間近でその技を見ていただきたいと思います。国スポを契機にスポーツクライミングをさらに盛り上げていきます。
市長 国スポに向けた施設整備をしていると、適切な施設があつて優れた指導者がいれば、熱意ある本気の若者は大きく伸びていくことを実感しました。全国的なスポーツの祭典の舞台でそれぞれが鍛え上げた技を披露されるので、日本中のみなさんにその感動を広げられるよう尽力します。国スポのほか、新公立病院の整備やICTを活用した行政業務の改革も欠かせません。令和6年は辰年。昇り龍の勢いで何事も前に進めていきます。今日はありがとうございました。